

平成 29 年 6 月 16 日

各 位

東京特殊電線株式会社

当社取締役会の実効性の分析・評価結果の概要について

当社取締役会は、東京証券取引所の定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性を高め、取締役会の機能向上を図ることを目的とし、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしましたので、その結果の概要について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 分析・評価方法の概要

平成 29 年 5 月に、すべての取締役及び監査役（計 12 名）を対象に無記名式アンケート（複数選択肢による択一回答及び意見欄を設定）を実施しました。その回答結果を踏まえ、取締役会において監査役を含む全員で議論を行い、第三者である外部専門家の意見も参考にして、取締役会の実効性に関する分析・評価を行いました。

（質問項目）

- I 取締役会の構成に関する質問（構成人数、多様性、社外取締役の人数・割合等）
- II 取締役会の運営に関する質問（開催頻度、情報提供、議論の活発度、会議の雰囲気等）
- III 取締役会の議題に関する質問（議題の選定・提案時期、審議時間、ガバナンス・リスク等）
- IV 取締役会を支える体制に関する質問（情報入手機会確保、取締役の研修等）

2. 分析・評価結果

当社取締役会は、上記質問票項目 I から IV について総じて取締役会の実効性が確保されていると評価いたしました。なお、「II 取締役会の運営に関する質問」のうち取締役会資料の内容について改善が必要であり、また「III 取締役会の議題に関する質問」のうち中期経営計画に関する議論については、より充実させていく必要があると評価いたしました。

3. 今後の対応

当社取締役会は、上記分析・結果を踏まえて、取締役会資料の記載内容について、十分整理しかつ網羅性等の観点から改善を行ってまいります。また、今後の成長に向け中期経営計画の達成に向けた議論を一層充実させること等により取締役会の実効性向上に努めてまいります。

以上